

嚶鳴同窓会活動報告 令和4年度後半

令和4年度 嚶鳴同総会 総会特集！

令和4年度 嚶鳴同窓会総会

令和4年11月6日(日)
パレスグランデールにて
当番幹事学年 昭和58年、59年卒
実行委員長 須藤祐子 58年卒
副実行委員長 大沼美奈子 59年卒
開催にあたってのテーマ(願い)

今を生きる

健やかに、心をつなぎ、豊かな人生へ

昨年同様、参加者を県内在住の同窓会役員、クラス幹事、当番学年の実行委員とスタッフとし、限られた人数での開催となりました。縮小した総会ではありましたが、議事、式典、アトラクション、米寿・喜寿を迎えられた方々の紹介など、和やかな雰囲気の中行われました。

～当日の総会の様子をお伝えいたします。～



令和4年度 嚶鳴同窓会総会
令和4年11月6日(日) 13:30～
パレスグランデール

1 開会
黙祷
開会のあいさつ 実行委員長 須藤 祐子
会長のあいさつ 嚶鳴同窓会会長 小笠原悦子
校長のあいさつ 山形県立山形西高等学校校長 片桐 寛英

2 議事
(1) 議長選出 同窓会校内理事
(2) 役員改選・会務報告 同窓会校内理事
(3) 令和3年度決算、令和4年度予算 同窓会長
(4) 会則の改正について
(5) その他
・令和5年度総会当番幹事あいさつ 平成14年・15年卒業生代表
* 花束贈呈

3 式典
勤続10年職員紹介・表彰

4 アトラクション
今を生きる ～ 健やかに 心をつなぎ、豊かな人生へ～
I 「体・健やかに」 健康増進のヨガ体験
II 「心・豊かに」 癒しのピアノとチェロのデュオ

5 校歌清聴 並びに 米寿・喜寿を迎えられた方々のご紹介

6 閉会
閉会のあいさつ 副実行委員長 大沼美奈子
司 会 佐藤由美子(昭和59年卒)
当番学年 昭和58年・59年卒



開会の挨拶 実行委員長



挨拶する 小笠原同窓会長



議事



勤続10年表彰スタッフ



前会長・副会長への花束贈呈



校歌清聴 並びに 米寿・喜寿を迎えられた方々のご紹介

今年度は、昭和28年卒業の皆様が米寿を、昭和39年卒業の皆様が喜寿を迎えられました。

皆様を会場にご招待することはできませんでしたが、お祝いとして、新旧校歌を清聴し、お名前をスクリーン上でご紹介させていただきました。また、総会に先立ち、お祝いのお手紙と創立120周年記念誌をお送りしました。



新型コロナウイルス感染拡大の状況から、今年度も規模を縮小、内容を工夫・検討しての準備となりました。同窓会会員の皆様のご理解とご協力のもと、総会を開催できましたことに感謝申し上げます。



当番学年 当日スタッフ (上) 各担当場所で活動するスタッフ (右)



文責：令和4年度同窓会総会実行委員会

【企画構成担当】

阿部洋子 児玉公子 石原ゆり (昭和58年卒業)

吉田美和 後藤恵津子 (昭和59年卒業)

二つの学年のメンバーが知恵を出し合って準備を進め、まるで高校時代に戻ったような和やかさでした。活動しながら、交友が深まったり広がったりして、楽しい時間となりました。



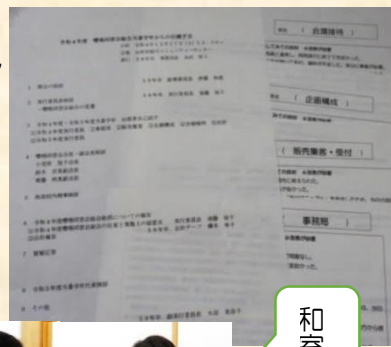
令和4年度 嚶鳴同総会総会 当番幹事学年からの引き継ぎ会 12月17日(土)

令和4年度当番幹事学年(昭和58年、59年卒)から令和5年度当番幹事学年(平成14年、15年卒)への引き継ぎ会が、鈴川コミュニティーセンターで行われました。各当番幹事の他に、同窓会長、副会長、校内理事の海和先生の4名が参加し、令和4年度嚶鳴同窓会総会の総括と会計報告、質疑応答が行われました。

令和2年度が中止となり、令和3年度の感染対策を講じての開催を受けて計画した経緯や前回の当番の時には経験したことの無い苦労が語られました。次の当番学年に、嚶鳴精神が引き継がれる実り多い会となりました。本当にお疲れ様でした。

平成14年、15年卒の皆様

昭和58年、59年卒の皆様



和至での引き継ぎ会



引き継ぎ会での当番幹事学年集合写真(左)

総会まで繰り返行われた「話し合いや活動の様子」

～全体打ち合わせと各担当に分かれて～



各委員会のあり方検討会 12月16日(金) 嚶鳴会館1階事務室において

検討会は、三役、佐々木組織検討委員長、青木後援活動委員長、辻原維持会費検討委員長、事務局から海和先生、櫻井先生の8名の参加で行われました。評議員の方々の「各委員会の在り方アンケート」の結果を確認し、各委員長から活動の状況や課題が出されました。今後の同窓会の運営についても活発な話し合いが行われました。

今回は評議委員会を開くことは困難であることから、様々な課題を解決すべく、話し合いの結果を書面にてお知らせし、新しい体制作りに向けて進めていくことが確認されました。

同窓会運営に関する学校との話し合い 1月5日(木) 嚶鳴会館1階事務室において

学校との話し合いでは、山科教頭先生、梅津事務部長、事務局より海和先生、三役の6名の参加で行われました。同窓会の運営に関しての現状と課題を出し合うために「同窓会の年間行事関係・年間通して随時行う仕事・数年に1度の仕事」を整理し、その資料を基に話し合いを進めました。

同窓会館の使用に関して・事務作業の軽減に関して・会計に関して(維持会費や経常費などの通帳の扱い方なども含む)と、内容は多岐にわたりましたが、活発な話し合いをすることができました。

この話し合いで確認できたことと、12月に行った各委員会の在り方検討会での内容を合わせ、さらに検

討を重ね、新しい体制作りを進めていくことを学校側とも確認することができました。

嚶鳴同総会館資料室紹介 NO.2

NO.2 山形西高敷地内遺跡 今回の展示について (展示資料の説明より)

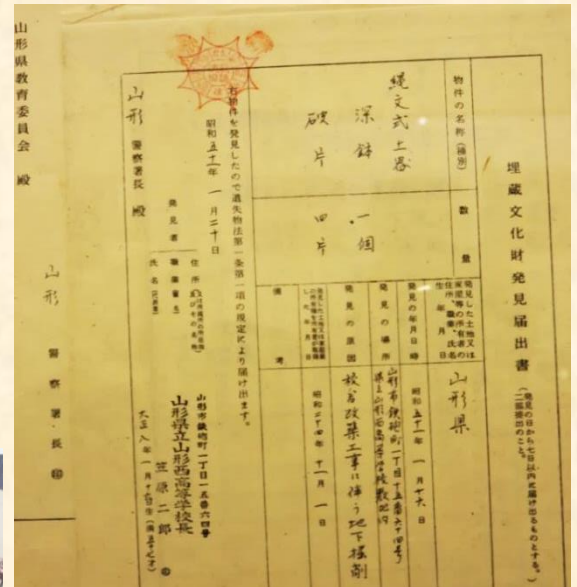
新校舎(現第1校舎)建設の時、地下1.5mから直径20cmの土器(網目模様で赤褐色)が発見され、予備調査が実施された。調査の結果、本校が縄文・弥生・古墳・奈良・平安にわたる埋蔵文化財包蔵地(遺跡)であることが確認され、「山形県西高等学校敷地内遺跡」と呼称されることになった。

今回の展示は、予備調査後に行った第1次発掘調査と第2次発掘調査で発見された遺物の一部が展示されていた石倉内の旧考古館の展示を復元したものである。

山形西高敷地内遺跡の概要

この遺跡は、昭和51年1月第1校舎改築の基礎工事中に発見されました。そして同年4月と7月、県教育委員会によって発掘調査が実施されました。遺跡の特徴は、縄文時代中期から平安時代まで約3千年の長い間の生活跡が、層位毎に整然と検出されたことと、特に山形県の米作りの発展を知る上で、重要な遺跡であるということです。調査の結果、次のような生活跡が発見されました。

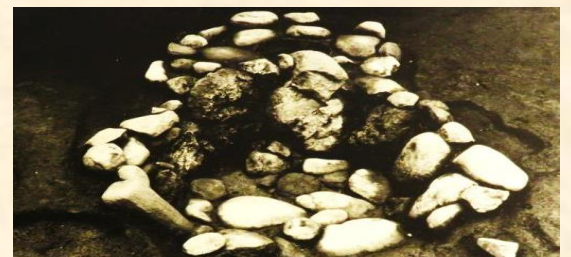
縄文時代中期	竪穴式住居跡	10軒
同 晩期	土 壙	8基
弥生時代後期	土 壙	1基
古墳時代前期	竪穴式住居跡	4軒
奈良・平安時代	竪穴式住居跡	7軒



土層断面



現地説明会 説明しているのは
柏倉亮吉 山形大学名誉教授



11号複式炉 縄文時代中期

嚶鳴同窓会入会式 2月28日(火) 山形西校体育館にて

同窓会長あいさつ、校長あいさつに続き、「同窓会表彰 同窓会長賞」が3名に送られました。(写真右)

新入会員の代表あいさつ・記念品授受・新クラス幹事委嘱を行い、新たな同窓生が仲間入りしました。

新同窓生の皆さんの、希望に満ちた光り輝く眼差しや姿は、これからの同窓会を託せるとても頼もしいものに感じました。



第69回 卒業証書授与式 3月1日(水)



三役が来賓として参列しました。

教頭先生による開式の辞に始まり、校歌合唱、卒業証書授与、校長式辞、来賓祝辞(後援会長・PTA会長)来賓紹介及び祝電披露、在校生送辞、卒業生代表答辞、閉会の辞、卒業生退場まで滞りなく式は挙行されました。卒業証書授与では、名前が呼び上げられると静寂な体育館に凜とした返事が響き、一人一人の卒業式への思いが伝わってきました。卒業生答辞では、入学時に緊急事態宣言により例年とは違うスタートとなり、我慢の3年間と言われたけれど、そのことを追い風として、仲間と励まし合い、団結を強め、充実した3年間であったことを力強く話していまし

文責 同窓会副会長 齊藤明美

た。感動の一言では表現できないほど、心に沁みわたりました。
母校の卒業証書授与式に参列することができたことに感謝申し上げます。